

長野支部 <2023年度事業計画>

【基本方針】

一般社団法人日本臨床発達心理士会の支部組織として、会員相互の連携による臨床発達心理士としての資質向上、発達心理学に基づく実践の充実を目指すとともに、職能団体としての体制作りを行う。

「発達の視点」から、被支援者および支援者自身の発達を支え、支援者同士の連携や職種を超えた協働を促すなど、臨床発達心理士としての専門性のスキルアップをはかる研修の場を、支部会員の主体的な企画と連携によって身近な地域の中に作っていく。これによって支部の支援力の向上を図る。

【今年度のテーマ】

- 1 生涯発達の視点をもって実践に取り組み、的確な評価を行うための研修。
- 2 会員の日常的な連携をはかり、会員相互の相談やSVを実現させ、他職種の視点を含む専門性の高い発達支援を支えるネットワークの構築。

【事業内容】

1 研修

①資格更新ポイント取得可能な研修 年間2回。

・学校心理士会長長野支部と資格更新ポイント取得研修の機会を提供し合っている。

┆ 1回を臨床発達心理士会長長野支部主催として本支部が企画する。

┆ 1回は学校心理士会長長野支部企画の研修会を共催として実施する。

・研修会参加費は、会員500円、非会員1000円を原則とする。

・新型コロナウイルス等感染症の状況によりオンライン研修への切り替えも適宜実施し、研修機会を確保する。

②支部会員提案の研修の推進

・参加した研修の話題共有、文献講読、支援プログラムの学習等、会員の関心を投げかけて集まる勉強会や実践上の相談を共に考える場づくりを進める。広報、参集等について、役員によるコーディネートや会員間の連絡ネットワークづくりを行う。

・事務局と相談の上必要に応じて会場費等を支部予算から支出する。

・ポイント申請研修会とする場合は実施3カ月前に企画を支部事務局と相談する。

③2024年度 第20回全国大会に向けた取り組み

全国大会開催支部として、本部の全国大会運営委員会と連携しながら、公開企画及び開催地としての準備を進める。

・支部実行委員会を組織して、事務局を中心に会場、後援依頼等開催地の手続きを行う。

・企画担当グループを中心に公開企画を立案運営する。

④他団体との共催による研修会について

・共催による研修会の実施、および研修案内を適宜行う。

・共催関係にある団体 「学校心理士会」

「ガイダンスカウンセラー会」 研修の情報提供あり

2 連携体制作り

①多様な分野で活躍する専門職の連携の促進

・会員が少数であり、広い県内に分散している支部の特性を踏まえて、支部会員同士の交流と連携を促すために、会員交流を企画する。

②会員や資格取得希望者へのスーパーバイズについて情報提供していく。

3 外部への発信と協力

①臨床発達心理士の理解と役割 支部ホームページ、講演や研修の提供、提言
災害支援等地域や外部からの要請への対応

②職業の安定と福祉向上 トラブル支援、求人情報集約 ほか *本部と連携しながら

事業	時期	会場等	内容等	ポイント	主担当
会員交流	7月	参集 オンライン 状況にあわせて	*4ブロック or 東北信グループ・中南信グループ *テーマを決めて	—	副支部長
会員提案 企画	随時	地域会場 オンライン	*会員提案による交流、相談、 実践検討、勉強会など		(役員)
資格更新 研修会 (学校心理士会長 野支部共催予定)	9月		*内容講師:未定(大会企画との連動も) 対象:臨床発達心理士 学校心理士会会員	1.0	副支部長
学校心理士会 の共催研修会	10月	(信州大学 教育学部)	未定(支部企画も加え1ポイントに調整)	1.0	学校心理士会 事務局
外部への 発信と協力	随時		*ホームページ 講演・研修 *災害支援 犯罪被害者支援 司法関連 等		役員会 (担当組織)
全国大会	10月頃 迄に		大会企画 G による公開企画推進		大会企画 G
			事務局中心に開催地関連の準備 全国大会運営委員会会議(第二日曜夜)		事務局:石黒栄亀 サポ-ト:西巻靖和